

野田市立児童館指定管理者  
候補者選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時	令和5年2月14日（火）午後1時30分から午後2時15分まで
開催場所	野田市役所4階 委員会室
出席委員	健康子ども部長（副委員長）、行政管理課長、保健センター長、主任児童委員を代表する者、野田市子ども会育成連絡協議会を代表する者、障がい者団体を代表する者
欠席委員	副市長（委員長）、障がい者支援課長、社会福祉法人野田市社会福祉協議会を代表する者、障がい児支援に識見を有する者、児童館を利用する児童の保護者を代表する者
事務局	児童家庭課、行政管理課

1 開会

＜副委員長から開会の言葉＞

2 議事

令和4年度（4月～12月）野田市立児童センターほか6施設業務報告書及び令和5年度野田市立児童センターほか6施設業務計画書の審査について

＜事務局から令和4年度（4月～12月）野田市立児童センターほか6施設業務報告書及び令和5年度野田市立児童センターほか6施設業務計画書について一括して説明＞

＜審議の概要＞

- 業務報告書1ページ、「公平利用デザインの考え方」について、サービス面では受付に「筆談ボードやコミュニケーションボードを用意します」とあるほか、「フェーストーカーを用意している」とあるが、利用者の平等な施設利用を確保するための、職員に対する研修等の受講状況について教えていただきたい。  
→ 障がいを持つ児童の「特性」及び「かかわり方」についての外部研修を「のだしこども館 supported by kikkoman」のセンター長が受講した。また、指定管理者が、定期的に外部講師を招いた研修を開催していることから、今後は子ども館の職員も研修に参加していく予定である。
  
- 業務報告書1ページ、印刷物について「見やすいフォントや色などを考慮し、作成します」とあるが、内容について具体的に教えていただきたい。  
→ 館内の掲示物等は、親しみやすい丸みを帯びたフォントを基調としているが、更に見やすさを重視するため、今後は「ユニバーサルデザインフォント」を使用していく。色合いについては、暖色系同士等を組み合わせないこと及び明度の似

た色を組み合わせないこと等のカラーユニバーサルデザインに配慮しており、「のだしこども館 supported by kikkoman」のホームページは、彩度の高いオレンジを基調に作成した。

○ 業務報告書3ページ、「①サービス向上のための取組状況」について、利用者の声を受け「1階で遊んでいる親子さん向けに1階の多目的トイレにおむつが交換できるような台を設置できないか検討しています」とあるが、進捗状況について教えていただきたい。

→ 1階の多目的トイレには、立ちながらおむつ交換ができる「フィッティングボード」は設置しているが、寝かせながらおむつ交換ができる台は用意していない。多目的トイレ内に設置するには、スペースの制限もあることから、どのようなものが良いのか現在指定管理者と市で検討を進めている。

○ 各子ども館の図書が古く、誰にも読まれていないと見受けられる。以前、市で開催していたリサイクルフェアでは、児童が喜びそうな本が多く集まったため、公民館等で古本の提供を依頼すれば、多くの本が集まると思うので、検討していただきたい。

→ 指定管理者とともに状況を確認し、検討させていただく。

○ 業務報告書3ページ、「(7) アンケートも実施しニーズの把握に努めました」とあるが、アンケート内容とその結果について教えていただきたい。

→ アンケートは、10月11日から10月25日までの期間、全館に「QRコード」が記載されたポスターを掲示し、インターネットで回答する形式で実施した。内容は「児童が楽しんで利用しているか。」等13項目で、四十名から回答があり、総合的な満足度は100点満点中84.8点であった。評価の高い項目は「スタッフが笑顔で挨拶できているか。」が95.6点、「今後も引き続きご利用いただけますか。」が95.6点、「子どもは楽しんで利用しているか。」が95.0点であった。一方で評価の低い項目は、「施設内の設備や遊具」が63.1点、「イベントや行事」が77.5点であり、改善を要する項目として捉えている。

○ 業務報告書5ページ、「②自主事業の取組」について、指定管理者が指定申請時に提案した事業は全て実施できているのか。また、利用者の反応について教えていただきたい。

→ 令和4年8月から10月に開館を延期したこともあり、一部の実施となっている。季節性のある事業もあることから、指定管理期間中に計画的に実施していく。利用者からの反応としては、0歳児対象の年度事業「ベビーのひろば」終了後に自主事業として実施している「午後のひとときタイム」では、「保護者自身が楽しみにしている」、「ほかの保護者との交流の場となっている」等の好評を頂い

ている。

- 業務報告書 8 ページ、「中高生向けの事業や新しい設備を有効に活用した事業の取組」について、実施したニュースポーツの内容について教えていただきたい。  
→ 障がいの有無に関わらず、誰もが一緒に遊べるスポーツとして、パラリンピック競技にもなっており、知名度が高い「ボッチャ」を実施した。
- 業務計画書 4 ページ、「②自主事業の取組」について、「子どもも大人も楽しめるイベントの開催」とあるが、具体的な内容を教えていただきたい。  
→ 「のだしこども館 supported by kikkoman」全体を使った「おまつり」を計画している。「子ども実行委員」を募集し、児童が参画するイベントに、地域の大人たちが加わることで、世代を超えた関わりが持てる事業を目指したいと考えている。
- 業務計画書 25 ページから 28 ページ、「委託実施計画」について、各館の令和 4 年度業務報告書には記載のない委託業務が記載されている理由を教えていただきたい。  
→ 「のだしこども館 supported by kikkoman」は、建物を建築して一年を経過することから、令和 5 年度から受水槽点検等を新たに加えたもの。  
各子ども館は、「野田市立子ども館業務特記仕様書」において、令和 5 年度から指定管理者が消防設備点検及び浄化槽点検を実施することとしたため、新たに加えたもの。また、施設の維持管理や職員の負担軽減のため、特別清掃業務及び除草業務を新たに加えたもの。
- 業務計画書 32 ページ、「研修計画」について、予定している障がい者雇用研修の内容について教えていただきたい。  
→ 令和 4 年度は、障がい者雇用に向けて理解を深めることを目的とした外部研修を実施した。令和 5 年度は、実際に障がいのある方が勤務している施設及び実習生を受け入れしている施設での取組を共有する時間を組み込むことを検討している。
- 障がいのある方が勤務している施設及び実習生を受け入れしている施設は、市が紹介するものか。そうであれば、まずは市役所内にある障がい者雇用室を参考にしていきたい。  
→ 研修先は指定管理者が選定するものではあるが、情報提供として市から提案したい。
- 障がいを持つ児童の保護者等から、「のだしこども館 supported by kikkoman」

を利用した意見を頂いたので、報告させていただく。

一点目は、市外在住の保護者からで、「地元では障がいがあることが言いにくい雰囲気があるので、障がいを持つ子どもでも通える施設ができて良かった」との意見があった。

二点目は、発達障がいの子を持つ保護者からで、衝動性が高く、走り回っている児童を見た職員が、「赤ちゃんでも静かにできるのに」、「もうお兄さんなのに」と心に刺さることを言われた。「ほかの子と同じことができないと遊びに行けないのか、子どものための施設ではないのか」との意見があった。事業計画書からは、インクルーシブに取り組む姿勢が伝わってくるので、職員一人一人が同じ思いで実行するよう指導していただきたい。

三点目は、「乳幼児コーナーの靴箱が狭いため、入口に靴が並んでいて入りにくかった」との意見があった。

→ 頂いた意見については、速やかに指定管理者と共有させていただく。特に二点目の職員の対応については、誰もが安全に安心して利用できるインクルーシブの理念を取り入れた「優しい施設」を目指す上で、あってはならないことであることから、早急に是正する。なお、三点目については、既に指定管理者が靴箱を増設して対応しているため、現在は入口に靴が並ぶ状態は解消している。

#### <審議の結果>

令和4年度(4月～12月)野田市立児童センターほか6施設業務報告書及び令和5年度野田市立児童センターほか6施設業務計画書について承認

### 3 閉会